

長岡市内の中小企業の優れた技術や製品を紹介する動画が続々と制作、公開されている。NPO法人「長岡産業活性化協会NAZE」は短編映画風の作品を発信。長岡工業高の生

徒たちも、取材から編集まで全てを手掛けた動画を送り出している。企業間取引が多く、地元でも知られていない企業の魅力を広く伝えようと、熱が入っている。

企業の技発掘 動画で発信

NPO法人「NAZE」

短編映画仕立て 16の製品紹介へ

NAZEは10月、動画投稿サイト「ユーチューブ」に専用チャンネルを設け、配信を始めた。題材はNAZEが認定する技術ブランド「豪技」の16製品。第1弾では、ケチヤップなど柔らかい物をす

くい上げ、形を崩さずに移動させる古川機工(滝谷町)の「スイットル」を紹介している。9分余りの物語仕立て。東京暮らしに疲れた女性が身を寄せた山あいの旅館でス



NAZEが公開を始めた企業紹介の動画をPRする写真

スイットルを手にし、使い方を知ると笑顔で食材の移動を試す。製品を説明するナレーションがないまま展開し、社名も最後に出てくる程度と、企業PRとしては異色の内容だ。

制作したのは、米国の映画学校で学び、長岡市に帰郷して起業したアートディレクター高野宙さん(33)。本県出身の女優を起用し、川口地域の古民家で撮影した。「実在する製品かどうかを、見る人が知りたくなるようにしたかった」と狙いを語る。毎月1話ずつ公開し、16編で一つの物語になるよう脚本を練っている。

NAZEの小林信行常務理事は「斬新な動画を積み重ね、とがった技術を持つ多様な企業が長岡に集積していることを伝えたい」と期待を寄せ